

学修支援センター ピアサポーター企画

「中国&台湾 本学留学生体験発表会 思い出 Party」 レポート

7月18日（金）12時20分～14時00分まで学修支援センター学習室1において、センターのピアサポーターでもある本学留学生5名による留学体験発表会“思い出 Party”が行われました。

教職員4名、学生12名、計16名の参加がありました。お昼休み時間にもかかわらず、ご参加いただきましてありがとうございました。以下、当日の様子をお伝えいたします。

<0. 準備>



本学の留学生たちが他学科の学生と交流できる機会が少なく、7月末で終わる留学期間のお礼を伝えたいとの熱意もあり、体験発表会という形で企画することになりました。国際教養学科のピアサポーターと留学生を中心に、企画、ビデオ作成、進行などすべて自ら行いました。

当日は1時限目からセッティングを始め、直前までリハーサルを行い、参加者に分かりやすく伝えるにはどうすればよいか、みんなで考えました。始まる5分前には日本語と中国語で校内放送を入れて参加を促しました。



留学生は左から、

郭昱瑾さん(山西大学・中国)

陳慧敏さん(山西大学・中国)

黄婕妤さん(静宜大学・台湾)

呂笑璇さん(山西大学商務学院・中国)

溫馨さん (山西大学商務学院・中国)

<1. ビデオ上映・学校紹介・自己紹介>



ピアサポーターで国際教養学科の猪俣理香さんと佐藤彩さんの2人が司会進行役。

留学生がこの1年で訪れた日本国内の写真やチューターさんたちと出かけた際の写真をもとに、5分ほどのビデオにまとめ、音楽とともに上映しました。

ビデオも楽しいものにまとめてあり、とても充実した体験であったことがよく分かります。人間発達学科や心理福祉学科、健康栄養学科の学生との接点はほとんどないため、初めて留学生と接する学生からは、このようにいろいろな話を聞ける機会があったとよかったとの感想が出ました。

本学の在籍数は約1,200人ですが、留学生たちの大学は1万人規模の大学が多く、そのほとんどが寮生活だそうです。三大学の特徴をパワーポイントで解説してくれました。

最後に、日本でのゴミの分別の話や失敗談など、一人ひとりが一番心に残っているエピソードを簡単に紹介し、発表は終了です。



<2. なんでも質問コーナー>



発表のあとは質問タイム。

「日本に来る前に中国でどのくらい日本語を勉強していましたか?」「好きな日本の食べ物は何?」「日本の料理で作れるのは何?」といった質問が出て、それぞれ答えていきました。ここでお昼休み時間が終了。

3時限目が空いている学生のみ残り、以降は留学生との交流タイムです。

<3. レクリエーション&ゲーム>



世界共通？イス取りゲーム。中国でよく聞かれる曲を中心に選曲してもらいました。

「猪八戒背媳妇」
(猪八戒はお嫁さんをおんぶする)
「好汉歌」(ヒーローの曲)
「达坂城的姑娘」(達坂城の女の子)
「LET IT GO」(中国語 ver.)
「超级马里」(スーパーマリオ)

勝者上位3名にはセンター長から賞品が授与されるとあって、ゲームといえどもヒートアップ。



イス取りゲームで負けた人には罰ゲームが待っています。

負けた郭さんが、パンダの絵を描かされています。



負けた呂さんが「お化け」のモノマネをさせられています。中国バージョン、アメリカバージョン、日本バージョンの3種類を披露してくれました。写真は中国バージョン、みんなで楽しく真似ています。

外から見た日本に気づき、メディアではなく直接中国の日常生活を聞くことができるよい機会となったようです。

☆今後も、留学生や学科間での交流の場を提供できればと考えています。